

【目的】

当院では QMS (Quality Management System) 活動開始と同時に文書管理をスタートさせ、ISO9001 を認証取得した。数年が経過すると文書管理に関するルールが徹底されず、文書承認から登録までを管理できない状況が生じてきた。組織として継続的に文書を活用するため文書管理のあり方について検討したので、その内容を報告する。

【方法】

管理できなくなった原因として、文書が一元管理できていない事務局管理体制や、文書管理の意義が職員に浸透しないため文書管理手順が順守されないことが挙げられた。そのため、継続的に運用可能な一元管理方法を検討し、それに合わせた文書管理運用プロセスを再構築することにした。また、各課に文書管理責任者を配置することで文書管理手順が順守される体制構築の検討を行った。

【結果】

現状のリソースで可能な文書の一元管理方法として、既に導入されているグループウェアを活用することにした。新たな文書管理運用プロセスとして、紙媒体を使用した承認申請方法とグループウェアのデータベースを使用して文書登録を行うことで、一元管理できる体制に再構築できた。各所属長を文書管理責任者として定め、文書管理は業務を効率化させる手段であることを再教育し文書管理の再キックオフ宣言をしたことで、病院全体で文書管理に取り組むとの再認識や文書管理の意義について理解を得ることができた。

【考察】

文書を継続的に管理する一元管理の仕組みは構築できたが、手順が順守される体制まで構築することはできなかった。今後は文書体系を整備し、組織として継続的な文書体系に繋がっていきたいと考えている。

当院における文書管理システムの 再構築について

大久野病院 宮林 皇史

- 2) 田中 宏明 3) 金子 雅明 4) 佐野 雅隆 1) 蓮藤 晃
1) 医療法人財団 利定会大久野病院
2) 大阪大学医学部付属病院中央クオリティマネジメント部
3) 東海大学情報通信学部経営システム工学科
4) 千葉工業大学 社会システム科学部 経営情報科学科



次
席





第18回

日本医療マネジメント学会

FUKUOKA2016

学術総会



明るい病院改革

改善とイノベーションで

明

部長
学術院長

2日(金)

1日(土)

被災地の皆様へ思いをこめて

